

## 宮津市廃棄物減量等推進審議会 第2回全体会 会議記録

日 時：令和4年9月30日(金) 午後2時00分から4時00分まで

場 所：宮津市福祉・教育総合プラザ4階 第1コミュニティルーム

出席者 ※敬称略

○委員（八尋慈教（副会長）、黒岡芳子、中西幸子、笠井裕代、古橋由季（リモート）、小畑晴美、松田高正、谷口政史、小西 均、山川 肇（会長））

○オブザーバー（岩崎靖之、片山禎彦、居村 真）

○事務局（今井副市長、山根部長、廣瀬課長、山本係長、井上主査）

欠席者 ※敬称略

○委員（瀬戸享明、矢野順子、小谷美穂、幾世健史、谷口知弘）

### 1 開会

### 2 会長あいさつ

### 3 報告事項

(1) 令和4年6月6日開催の宮津市廃棄物減量等推進審議会について 資料1

(2) 令和4年9月2日開催の第1回資源循環検討部会について 資料2

一括して事務局より説明。質問、意見なく2件の会議記録を承認

### 4 議事

(1) 宮津市プラスチック等資源循環促進条例（仮称）について 資料3

#### 【事務局説明】

- ・資料3は、9月2日開催の第1回資源循環検討部会で提示した資料をベースとしており、部会でいただいたご意見等の反映箇所を青字としている。
- ・10月6日の市議会全員協議会には、本日いただくご意見の反映が間に合わないので、資料3を提出、報告するのでご了承いただきたい。
- ・本日、委員からいただいたご意見を反映し、パブリックコメントの資料とする。

#### （副市長の補足説明）

- ・P18 について、前回資料から全て削除した「資源循環型企業の誘致」の項目については「資源循環型企業との連携強化」という形で残していきたい。内容としては、基本的な資源循環をしっかりとやっていくこと、市民や廃棄物を排出される方にはリサイクルに適した質の高い分別をしていただくこととしていきたい。併せて、資源化していただく事業者をしっかりと確保していくことも重要であることから、その点も条例に謳っていきたい。
- ・また、削除した再生可能エネルギーについては、P4の地球温暖化対策の推進に関する法律の一部改正でもあるように、国において地域脱炭素化促進事業でしっかりと取組がなさ

れるので、条例には書かずに別整理としていきたい。

## 【6. 新条例の構成：総則】

### （委員の主な意見）

- ・ 便利なことに慣れ元には戻れないということだが、夕食をにしがきさんの総菜にすると家事の時間はゼロで済むがプラスチックの容器ごみが多く出る。コンビニで食材を買うとさらに多くのごみが出る。便利な世の中の動きを変えていくということはなかなかできないだろう。条例の実効性を担保する指針の策定はいいことだと思う。
- ・ 条例では、難しい用語が使われるが、できるだけ分かりやすくしてほしい。ただ、条例とはそういうもので、実際に何をやっていくのかが重要で、指針では何をどうするのかというところを分かりやすくしっかりと書いてほしい。

### （オブザーバー意見）

- ・ 条例では、理念条例なので、踏み込んだ表現を多く使っていけばどうかと思う。例えば、使い捨て容器は使用しないとか、使い捨てプラスチック容器を使用しても回収に努める責務を有するとか、プラスチック製容器以外の容器を使う努力をするとか、一步踏み込んだ表現ができれば理想。
- ・ 理念条例であり、大きなところが謳ってあればいいと思う。取組の実行は、基本指針において、それぞれが取り組みのしやすいところからやっていければいいと思う。

## 【6. 新条例の構成：具体の対策】

### （委員の主な意見）

- ・ 私たちにできる身近なこととして、食品ロスの削減として食材を買いすぎないこと。暮らしを変えることと、地産地消を実践していくことが廃棄物に減量につながる。
- ・ スーパーでは、肉などが大きなトレーで販売されている。私はハサミで切ってからごみ袋に入れているが、各家庭では大きなごみ袋が必要だと思う。そのあたりが改善できないかと思う。
- ・ 誰にでも分かりやすい取組を誘導していければ良い。
- ・ 事業所でもできることが多くあり、行政と連携していきたい。情報発信は事業所で取り組むことができる。
- ・ 廃棄物が出ることは仕方ないことであるが、その資源化は大切。宮津市の場合は、プラごみ袋と発砲ごみ袋とある。プラマークのごみであるが、素材が発泡スチロールであれば発砲ごみ袋に入れてくださいとなっており戸惑う。
- ・ 歯ブラシ等のアメニティの削減について、歯ブラシ等をロビーでお渡しし数量を削減しようとしているが、夜の分、朝の分と持っていくお客様があり、逆に増えているのではないかということがある。

また、米粉の歯ブラシ製品があるが生産が追い付かず手に入らないし、最近では、竹の歯ブラシ製品もある。これは価格が3倍増となっており、導入が難しい。

星野リゾートさんでは、使用済み歯ブラシを回収し、刷毛と柄に分離し、柄をリサイクルし、歯ブラシとして再生利用することに取り組んでおられる。

客室では、都市圏のほうのお客様だとごみを分別されない方が多くあり、排出の段階で従業員が分別している。お客様にご理解いただけるようなマークやキャッチフレーズが

必要だと感じている。

- ・周知、広報により協力を求めていくことが重要だし、環境教育を進めていくことも重要。スーパーのトレーの問題も変えていかないと抜本的な解決にはつながらないのではないかな。

#### (オブザーバー意見)

- ・リサイクルについてアンケートを取ったことがある。リサイクルにどのような不満があるかとの問いには、リサイクル・循環に協力しても、その後が実際にどうなるのかわからないとの答えが多い。この結果からも、リサイクル品の見える化は非常に重要であり、そうすることで、市民意識も変わってくると思う。
- ・来月の10月は食品ロス削減月間である。皆さんご協力をお願い。
- ・中間処理施設の宮津与謝クリーンセンターとしては、資源化を図るにはしっかりと分別いただくこと、資源ごみはきれいな状態で排出いただくことが必要。
- ・宮津与謝クリーンセンターでは、コロナの関係でしばらく休止していた施設見学を再開している。施設見学では、小学4年生が環境学習に熱心に取り組まれている。大人の方におかれては、廃棄物がどのように処理されていくのか分からない方が多くおられると思っている。大人の方が学ぶ機会というのも大切。いずれにしても廃棄物の処理は、市民も事業者も同じ認識、学ぶことが重要だと思う。

#### (会長)

- ・全体として、もっと具体的にわかりやすく、という意見が多かったと感じた。今の段階では、そこまで踏み込んだ形は難しいかもしれない。
- ・今後の検討の中で、理念条例であるからこそ、宮津市での取組や行動の具体的な責務を条文に書くことが良いかもしれない。
- ・3回の会議でだされた意見も点検しながら、条文の作成までに検討していきたい。
- ・また、P19以降の基本指針に具体の取組は組み込むことができる。
- ・副市長の補足説明の部分以外で、P14からP18までに記載のある条文について、直接、このように変えたほうが良いという意見はなかった。
- ・皆さんの意見をまとめると、市民や事業者にとって取り組みやすいものを市としても提案していく、また、取り組みやすさといった点を条文に盛り込むことが可能かもしれない。
- ・例えば、P17の「・市は、プラスチックの資源循環を推進するため、3R+Renewable（使い捨てプラスチック製品・容器包装等の使用抑制、紙など植物等から生産される再生可能な素材への転換、プラスチック製品や代替製品の長期使用・再使用、使用後のプラスチックの循環利用）の推進に努める。」を、「・(略)を推進するため、取り組みやすい行動を検討し、3R+Renewable(略)」とするなど、取り組みやすさを意識した表現にしてはどうか。
- ・また、P17の「市は、市民、事業者及び観光客等が行う自主的な資源循環の取組を促進するため、「資源循環に取り組む持続可能なまち・宮津」の情報・イメージを市内外に発信するなど、必要な取組を行う。」を、「(略)の情報・イメージを、わかりやすく市内外に発信(略)」としてはどうか。

- ・ここまでのまとめでご意見があれば出してほしい。

#### (委員の主な意見)

- ・取組を肯定するようなメッセージも発信していけばいいのではないか。

#### (会長)

- ・P17の「市は、市民、事業者及び観光客等が行う自主的な資源循環の取組を促進するため、「資源循環に取組む持続可能なまち・宮津」の情報・イメージを市内外に発信するなど、必要な取組を行う。」又は、P18の「○環境教育・学習の推進 市は、循環型社会形成による持続可能な脱炭素社会づくりと自然との共生に関する市民の意識を高め、主体的かつ楽しみながら積極的に行動する人材を育成するため、先進企業など市内外の事業者との連携のもと、学校、企業、福祉施設、地域社会その他様々な場を通じて、全世代に向けた実践的な環境教育・学習を推進する。」のどちらかに、モチベーションアップを図るような肯定的なメッセージを入れていく。
- ・P19～P21について、市から再度考え方について発言を。

#### (副市長)

- ・基本指針においては、具体的にわかりやすく書くことで市民の方への理解が深まるが、どこまで具体化できるかがポイント。
- ・条例では、市民と観光客の責務の中で、資源ごみは適切に資源化できるようきちんと分別しきれいに排出する、といった踏み込んだ具体の対応を書いていく必要がある。あわせて、情報発信のところでは、市役所の率先行動など、皆さんに納得いただける内容も盛り込んでいく必要がある。
- ・本日頂いたご意見の反映は、議会への報告書類には間に合わないが、パブリックコメントの書類では記載する。

#### (会長)

- ・宮津市プラスチック等資源循環促進条例（仮称）については、いただいた内容で進めていく。

## (2) ごみの減量化について（宮津市ごみ減量化及び資源化調査等）

資料4

→事務局、NTT ビジネスソリューションズ 資料に基づき事業の説明

#### (・・・委員)

- ・実機実証試験ということで、ハーベスト宮津工場で7月から機器を設置し実施している。
- ・生ごみだけを投入するということで、従業員ははじめのうちは慣れなかったが今では随分慣れてきている。
- ・朝の投入は1回で50kgになる。女性の職場なので持ち上げるのが大変。
- ・匂いはあまりないと聞いていたが、投入口を開けると匂いは結構ある。

### (NTT ビジネスソリューションズ)

- ・多くのタンパク質が入ると匂いがきつくなる。

### (・・・委員)

- ・給食後の残飯も投入している。

### (委員の主な意見)

- ・一次発酵後はどうなるのか。  
→ (事務局) 綾部の工場に搬出し土壌改良剤として農家で活用されていく。すでに NTT ビジネスソリューションズでモデルがある。
- ・最終的には、土壌改良剤を宮津の農家で使っていくということか。  
→ (事務局) 将来的には地産地消を目指していきたい。
- ・宮津の農家で需要はあるのか。  
→ (今井副市長) 今、肥料の価格が高騰しているため、農家からは土壌改良剤は欲しいと聞いている。農林水産省のみどりの食料システムでも、新たに有機に近いような農業を推進していく流れにもなっている。その中で、市としてできること考えていきたい。  
なお、市については、10 数年前にコンポスト購入補助を廃止しているが、出口をしっかりと踏まえた上で、制度の復活について検討していきたい。
- ・コストはかかってもそういった土壌改良剤を使う流れになってきている。良いチャンスだと思う。
- ・地元の米農家さんに使ってもらえればと思うが、その土壌改良剤は田んぼにも有効なのか。
- ・市内にコンポストの展開を図っていく際には、臭気対策は不可欠。そして、先ほどの報告において、投入する際に重たいとの意見があったが投入口の工夫が必要ではないかと思う。  
→ (NTT ビジネスソリューションズ) ご意見を踏まえて進めていきたい。
- ・畑に置くコンポストでは匂いで動物が集まることがあるので簡単ではない。囲いを作るなどの対応が必要となる。簡単にいくものではない。個人では難しい。

### (会長)

- ・コンポストは使う側のところが難しい。事務局でそこまで含めた評価はしてほしい。
- ・家庭用の電気式コンポストでは、ごみ収集に出すより、電気を多く使用することから CO2 の排出は多くなる。脱炭素もイメージしながら検討していくことが必要。

### (3) 今後の取組について

- ・大型ごみ収集運搬について 

資料 5
------
- ・し尿くみ取り手数料について 

資料 6
------

**(委員の主な意見)**

- ・資料5の(2)近年の大型ごみの収集実績の、直接搬入が増えた要因は。  
→(オブザーバー)宮津与謝クリーンセンターの開設に伴って、家庭からの排出量に変化があったもの。

**(会長)**

- ・今後、部会で審議していくが、細かい分析資料の提示をお願いする。

**(4) その他**

- ・(委員)ごみの減量化や資源化のことは、住民に知っていただき意識していただくことが大切だと思う。

**5 閉会**